

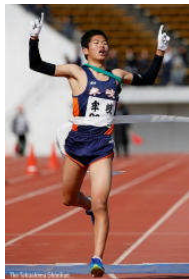


年中だより 校訓「愛知・自治・敢為」 89名のみならず保護者の皆様へ

祝 第46回県新人駅伝競走大会 牟岐中 男子初優勝



2月に入り、はや中旬となり、暦の上では春ですが、寒さは厳しく先週末には西日本に大寒波が到来しました。そんな中、2月11日(土)県中新人駅伝が鳴門運動公園において、強風の中行われました。牟岐中学校男子は、6区間全てで果敢に攻めの走りを見せ、見事優勝を勝ち取り、参加59校の頂点にたちました。また、女子も目標順位を達成しました。本当に男女ともによく頑張ってくれました。どんなに寒くても、雨の日でも毎日、先生方の指導の下、地道に朝練をしてきた成果だと思えます。また、周辺校でインフルエンザの流行を聞く中、当日に向けた体調管理・調整も万全だったのではないのでしょうか。今回の優勝は選手一人一人の頑張りはもちろんのこと、補員の選手や女子の駅伝選手、指導に当たってくれた先生方、そして日々支えてくれている保護者や応援してくれている地域の方々の思いが一つになったものだと感じています。この成果を次にしっかりとつなげていき、さらなる飛躍を期待しています。



2月13日の朝会の話

Boys be ambitious (少年よ 大志を抱け)

これは、1876年北海道開拓に際し、北海道の農業技術を向上させるために来日しましたクラーク博士の言葉です。クラーク博士は当時札幌農学校と呼ばれた北海道大学の初代教頭として就任し、北海道開拓にも多大な影響を与えた方です。

「大きな希望を持って何事にもチャレンジしようということです。」
今回の県駅伝の優勝も大きな目標に向かって練習を重ねた結果だと思えます。実はこの言葉には、続きがあります。「少年よ 大志を抱け。ただし、お金のためではなく、自分の利己心のためではなく、名声というはかないもののためではなく、人間として追求すべきものに向かって大志を抱け」と続いています。

「人間として追求すべきもの」とは、何でしょうか？ 誰もが追求することは「幸せ」になることです。この「幸せ」には三つの受けとめ方があるといわれています。それは、「してもらって幸せ」「自分でつくる幸せ」「人のために尽くす幸せ」です。どれもとても大切ですが、クラーク博士の言いたかったことは三つ目の「人のために尽くす幸せ」の実践できる人間になってほしいということだったのではないのでしょうか？「ありがとう」と感謝される行為は、自分の周囲を温かい空気でも包み込み、何事にもポジティブに取り組める環境をつくってくれます。中学校生活あと1ヶ月になった3年生、そしてあと2ヶ月で進級する1年2年生のみなさん人のために尽くす幸せを少しでも多く感じて欲しいと思っています。

火災避難訓練を実施しました

2月2日(木)調理室を火元として、避難訓練を実施しました。海部郡消防組合より消防隊員の方に来ていただき指導を受けました。昨年12月には新潟県糸魚川市で大規模火災が発生しました。地震・津波等の自然災害だけでなく、火災訓練の重要性を感じることができました。



今月の行事

- ・PTA役員会を2月15日(水)に実施します。役員の方々ご参加ください
- ・入学説明会を2月24日に実施します。
- ・自転車冒険家西川昌徳さんが2月28日 来校し3年生にエールを送ってくれます。